

俣野田舎原氏

三十三

特 別

△13

4274

33





瑪紫

丙子

種彦作

田貞造

三十三編上

91-2364

儂紫

田舎源氏

第卅三編
上冊

六條新館之圖

柳亭種彦

歌川國貞作

仙臺堂梓

坤

秋

磯菜の方

遊山所



空衣
菰

乾

冬

雲井之丞

花里
後王葛相住



巽

春

光氏君

紫のうへ
阿久姫



艮

夏



朝霧
の方

儂紫 田舎源氏 第三十三編序

觀音様の序尊をさびくまうして石山で噴鼻とあこまらんも
かまられども既ふうの分身まあその敷の二十三編をなまらうて
法わつ華經初音の巻へうらふふらうの普門品第二十五帖目の
螢の巻へも道づたが刀双段へ趣向ははまり六條の院を
光氏が新館ふ取あて其結構を並べたれバ覗き機振の
言ふその如く玉葛の末ふふり人の縁ある衣配り成俗文ふ
直しく山本土佐が古澤瑠璃の小袖賣の景事ふまごころが
儂紫も四句の文の口拍子のおのけうらうりしあるべし

天保庚子正月

柳亭種彦



原式三十一編

書

光氏初て
玉葛を
對面の圖



玉子の巻

ひさあま
あまうみつし居
あひく火こそ
いとけさうびる
むちまればあやの
顔へゆき
のころをまひ
さもあぢらぬあ
とてん懐ま
ありかりあ

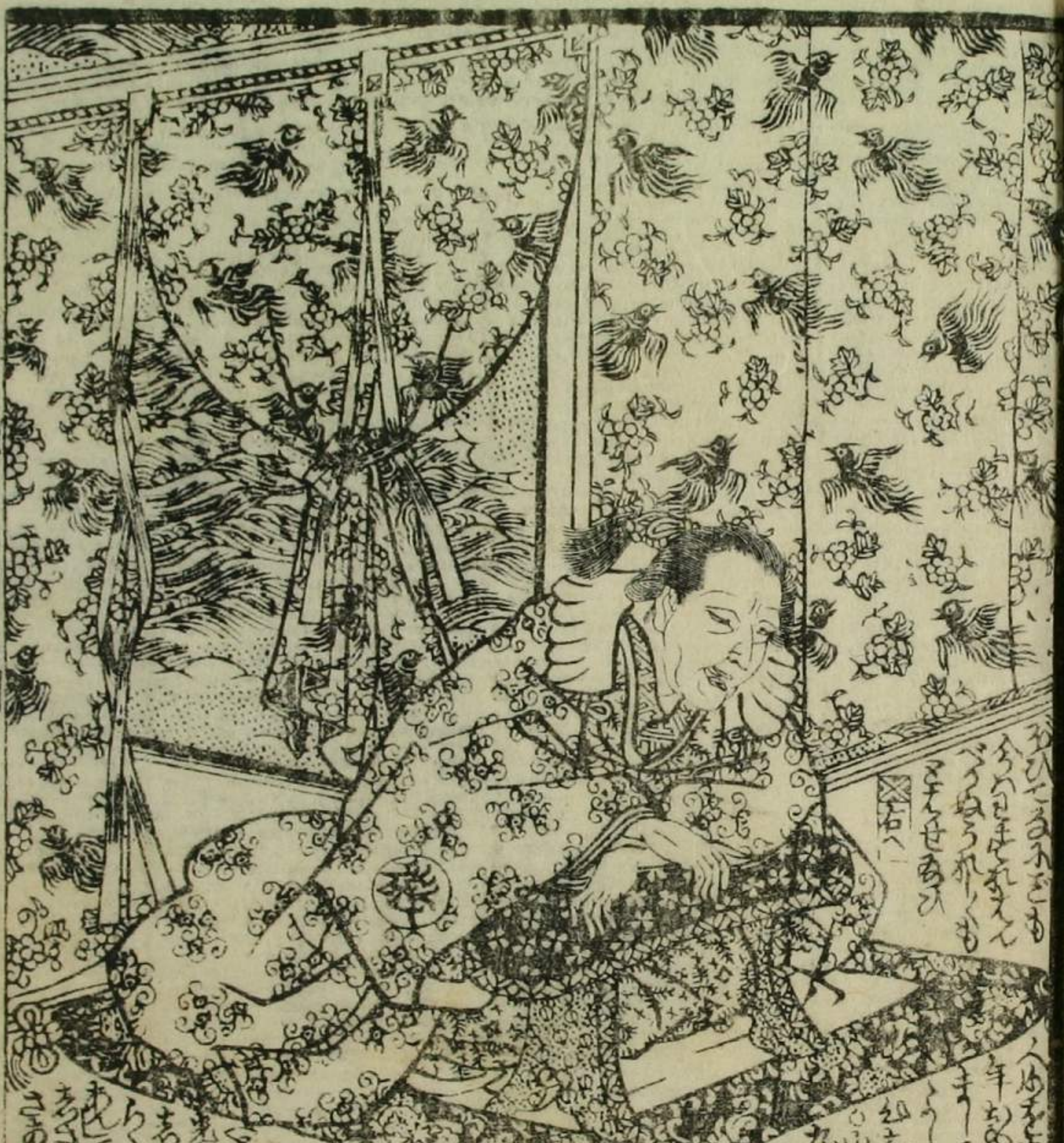
しほのさゆりかたれ...
まはりのさゆりかたれ...
しほのさゆりかたれ...
まはりのさゆりかたれ...

あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...



あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...

あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...





下編三十三



國貞画種彦作

あまのついでに玉のまをむね
をまといひらうりよらま
むまめとおひ
ひがしと人の
きまらるる

あまのついでに玉のまをむね
をまといひらうりよらま
むまめとおひ
ひがしと人の
きまらるる



あまのついでに玉のまをむね
をまといひらうりよらま
むまめとおひ
ひがしと人の
きまらるる



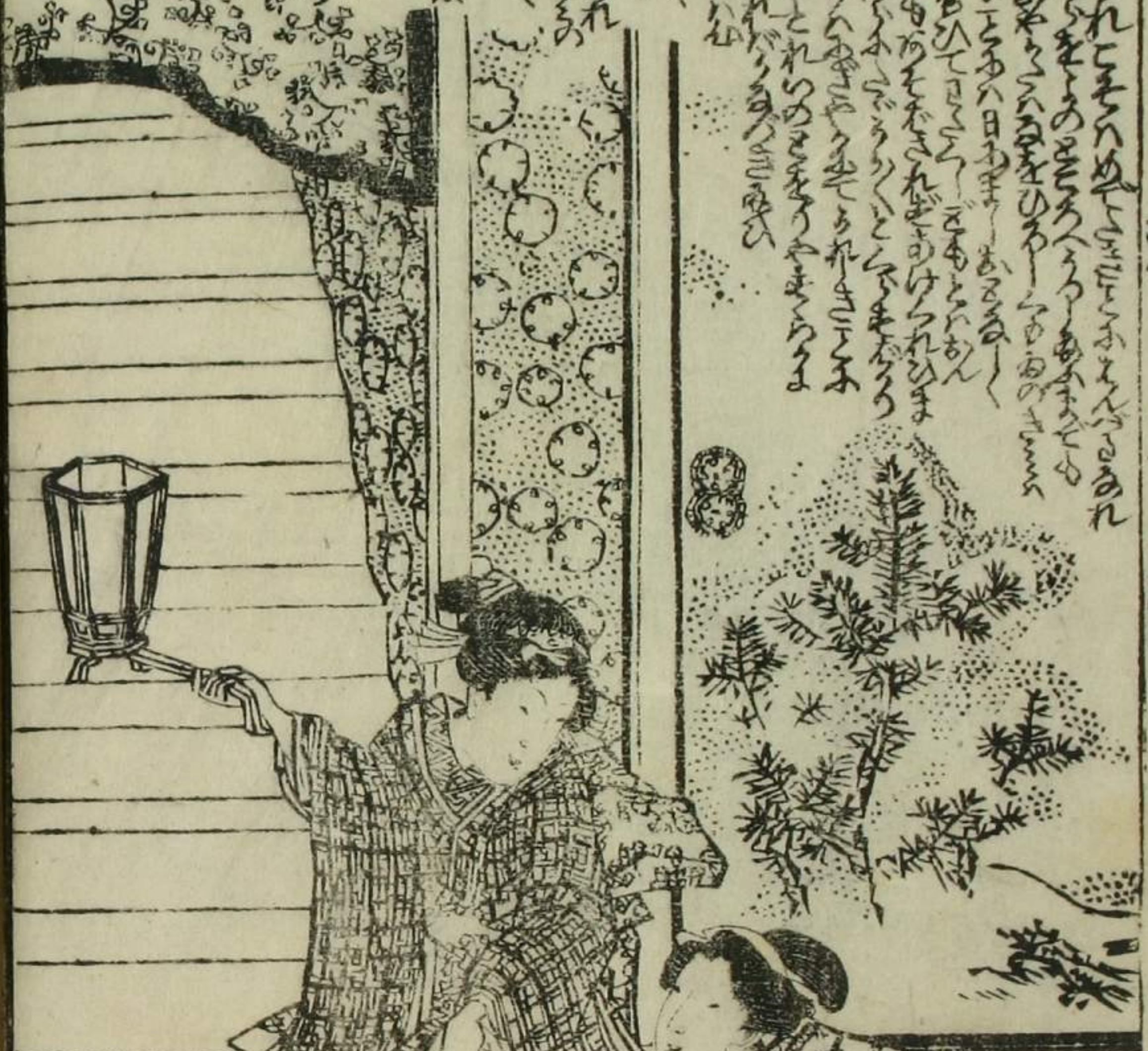
あまのついでに玉のまをむね
をまといひらうりよらま
むまめとおひ
ひがしと人の
きまらるる



あまのついでに玉のまをむね
をまといひらうりよらま
むまめとおひ
ひがしと人の
きまらるる

さきつれにそひぬて...
あまのこころを...
あまのこころを...
あまのこころを...

あまのこころを...
あまのこころを...
あまのこころを...



あまのこころを...
あまのこころを...
あまのこころを...

あまのこころを...
あまのこころを...
あまのこころを...



あまのこころを...
あまのこころを...
あまのこころを...

Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items, located at the top of the right page. The text is arranged in several columns, with some lines starting with small square symbols.



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items, located at the top of the left page. The text is arranged in several columns, with some lines starting with small square symbols.





美艶仙女香
 黒油
 美玄香
 坂本氏製
 三丁目
 取次

美玄香
 坂本氏製
 三丁目
 取次

美玄香
 坂本氏製
 三丁目
 取次

倭紫田舎源氏

柳亭種彦作
 歌川國貞画

三十四編の初めをふかづり初巻ふらり下冊のての巻とあり三十五編
 上冊のすゑの巻の巻をり下冊のての巻とあり三十六編上巻の巻
 下冊のての巻をり下冊のての巻とあり三十七編の上巻の巻とあり
 下巻の巻とあり三十八編の上巻の巻とあり三十九編の上巻の巻とあり
 四十編の上巻の巻とあり四十一編の上巻の巻とあり四十二編の上巻の巻とあり
 四十三編の上巻の巻とあり四十四編の上巻の巻とあり四十五編の上巻の巻とあり
 四十六編の上巻の巻とあり四十七編の上巻の巻とあり四十八編の上巻の巻とあり
 四十九編の上巻の巻とあり五十編の上巻の巻とあり

美艶仙女香
 黒油美玄香
 坂本氏製
 三丁目
 取次



書物錦繪
 團扇地紙

問屋

江戸通油町
 鶴屋喜右衛門

